西前橋部 大福寺

# 薬師供伝法会

令和四年六月二十六日

## 開催の危機にも負けず 比叡山の精神を今に伝える

大福寺様（轟 堯順住職）にて、延暦寺一山行光坊住職横山 照泰師を阿闍梨に薬師供伝法会を四十七名の参加のもと執り行いました。

経緯として、令和二年二月に当会では竹田会長時に「六観音伝法会」を同じく横山先生に依頼をして開催しました。その後の懇親会の席上、当時根本中堂輪番として薬師如来にお仕えしていた先生に、次回の伝法をお願いしたのが発端でした。

その直後パンデミックとなり、伝法どころか、横山先生に依頼することも困難になります。この間、横山先生は再び行院長にお戻りになります。当会でも竹田会長から長会長へと新たに発足。また横山先生をお招きし伝法会を行うこととなり、十一月に横山先生にもお伺いし、令和四年二月の開催を予定しましたが、ここでも新たなオミクロン株のため、延期となり、横山先生のスケジュールを調整し、春行院の終了直後の六月二十六日の開催を迎えることが出来ました。

今回の薬師供は先生の師匠で、千日回峰行を満行された葉上 照澄阿闍梨から先生が授けられたものが大本であることが切り紙に記されています。横山先生を通して葉上阿闍梨から引き継がれた比叡山の行の精神を、そして先生が過ごされた根本中堂での体験と、宗祖大師が願われた衆生済度の精神。単なる伝法会ではなく、今後の僧侶たちに向けた熱いメッセージを賜ったひと時でした。

（轟 圭順）

横山照泰師


会報

# 群青

第14号
令和5年4月20日発行

発行所
高崎市中尾町 1261
天台宗群馬教区宗務所内

発行人
群馬天台青年会

編集
広報部

**仏青のホームページ日々更新しています！**

皆様により良く仏青の活動を知っていただけるよう日頃の出来事を発信しています。今後も内容の充実化を進めて参りますので、どうぞよろしくお願い申しあげます。

以下のQRからもアクセスできます。

https://bussei.gunmatendai.com

群馬天台青年会

# 新入会員

若輩ですが、仏青活動を通じて学ばせて頂きたいと思います。ご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。

東前橋部 宝禅寺
小林 賢正

精進を重ねて一隅を照らす人材となるよう頑張ります

西前橋部 林倉寺
西林 乘大

県内寺院様からのご提供

## 残蝋ボランティア

令和元年 11 月より開始された残蝋ボランティアですが、県内各寺院様の御協力により、本年は 69kg の残蝋を回収できました。回収した残蝋は令和 4 年 12 月に「萌希の丘ほほえみ工舎」様に寄贈し、施設内を見学させて頂きました。今後も残蝋の回収を続けて参りますので、ご協力お願い申し上げます。（青柳 興雅）

宗務所清掃並びに

## 仏教保護会慰問

12 月 5 日に、宗務所職員、寺庭婦人会の皆様と合同で宗務所清掃を行いました。普段利用させて頂いている宗務所に感謝の気持ちを込めて清掃致しました。

清掃の後は、群馬県仏教保護会へ、県内各寺院の皆様より頂戴した慰問品をお届けしました。( 青柳 興雅 )

青年僧侶向け

## 着付け研修会

青年僧としての葬儀のお手伝いが多いため、令和 4 年 6 月 6 日、群馬教区宗務所で着付けの研修を行いました。

研修では三浦宗務所長にお越しいただき、実際に着付けの介添えを行い、ご指導いただきました。まだまだ未熟な点は多々ありますが、青年会としてこれからも精進してまいります。
( 稲岡 弘順 )

## 教区青少年研修スタッフ募集

**8月開催予定！**

※状況により変更となる場合がございます。

群馬天台青年会制作

## 散華のご案内

**オリジナル散華制作します！**

原則として春彼岸・秋彼岸の前（年二回）に印刷し納品いたしますが随時ご相談に応じます。まずはお気軽にお問い合わせ下さい。

## 群馬雅楽会 会員募集

古来より仏教儀式に取り入れられてきた『雅楽』を一緒に演奏してみませんか？

**お問い合わせ・お申し込み**

詳しくは当会ホームページもしくは事務局までお問い合わせください。

**天台仏青連盟**

連盟のHPは以下のQRからアクセスできます。会報誌のダウンロードができます。

## 群馬県上野村 御巣鷹山慰霊法要

令和四年十月十九日

### 慰霊碑や墓石は故人と自らを繋ぐ大切な場所

日航機墜落事故で亡くなられた方々の冥福を祈り、慰霊の園にて会長の長 諒順師導師のもと法要を行いました。絵本『パパの柿の木』は事故で夫を亡くした谷口 真知子さんが執筆され、昨年七月、大阪で舞台化。夫役を演じた方が故人の思いに近づきたいと、慰霊の園に赴いたという記事を読みました。

慰霊碑や墓石は、故人と自らを繋ぐ大切な場であると改めて感じ、今後も五百二十名の各霊位の冥福を祈ると共に、遺族の想いを次世代へ繋げられるよう、法要を営んで参ります。（ウーリィ 妙婧）

## 東日本大震災物故者慰霊法要

令和五年三月十一日

### 未曽有の災禍を胸に刻み 一僧侶として何が出来るのか

本年は東日本大震災発生から十二年、十三回忌を迎えます。当会では、三月十一日、西前橋部長松寺様（長諒順住職）にて長 諒順会長を導師に、東日本大震災物故者慰霊法要を厳修。当会員十二名出仕のもと常行三昧を執り行うと共に、地震発生時刻の午後二時四十六分に鐘を撞き、物故者のご冥福と被災者の心のご安寧をお祈り致しました。この未曽有の災禍を胸に刻み、一僧侶として何が出来るのか、改めて考えて参る次第です。（眞木 興遼）

## 宗祖大師報恩法要

令和五年八月十八日

### 伝教大師像の前で ご遺徳を忍び更なる精進を誓う

毎年恒例の宗祖大師報恩法要を八月十八日に浄法寺様（緑野 智彦住職）で執り行いました。三浦 祐俊宗務所長にもご随喜いただき、本堂内の法要となりました。お大師様の御遺徳を偲びつつ、青年僧として更なる精進を重ねてゆく事をお誓い申し上げました。（小川 晃龍）

会長 藤田 祐隼

## 発刊のご挨拶

**新しい会長として、教区をはじめ教区内寺院、当会会員の皆様に感謝申し上げ就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。**

当会は 50 年の歴史を持ち、周囲の環境は大きく変わりました。特に、コロナ禍によって人との繋がりや交流が制限されることが増え、新しい形を取り入れながら活動を続けています。このような環境でも諸先輩方の助言や仲間の協力、一人一人の経験があったからこそ、停滞せずに活動できたと感じています。

今後も当会の活動が青年僧にとって良い経験と成長の場となるよう尽力します。ご支援ご協力をお願いいたします。

## 群馬天台青年会 新事務局紹介

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務局次長（散華） 龍性寺 小作 侃隆 | 会計補佐 長光寺 大澤 亮智 | 会計 東壽寺 青柳 興雅 | 事務局長 圓龍寺 眞木 興遼 | 副会長 善應寺 小川 晃龍 | 副会長 大徳寺 ウーリィ 妙婧 | 会長 延命寺 藤田 祐隼 |
| 事務局補佐（研修） 正法寺 稲岡 弘順 | 事務局補佐（総務） 華蔵院 齋藤 祥駿 | 事務局補佐（総務） 龍善寺 門倉 龍仁 | 事務局次長 振興（渉外） 妙音寺 稲岡 泰順 | 事務局次長（広報） 正圓寺 山本 堯幸 | 事務局次長（研修） 自性寺 田中 昌道 | 事務局次長（総務） 泉蔵寺 荒木 亮佑 |
| 天台青年連盟（代議員会承認後出向） 長松寺 長 諒順 | 代議員 光琳寺 林 祐基 | 会計監査 西林寺 今村 賢道 | 会計監査 長安寺 林 廣怜 | 事務局補佐（振興） 満願寺 原 徳応 | 事務局補佐（広報） 長安寺 林 祐快 | 事務局補佐（広報） 柳沢寺 小川 晃楽 |

### 新幹事一覧

- 泉蔵寺　荒木 亮佑　南前橋部
- 圓龍寺　眞木 興遼　北前橋部
- 観窓寺　轟　圭 順　西前橋部
- 満願寺　原　徳 応　高崎部
- 西林寺　今村 賢道　冨岡部
- 千手院　野平 修真　多野部
- 柳沢寺　小川 晃楽　北群馬部
- 華蔵院　齋藤 祥駿　沼田部
- 善雄寺　真下 智成　桐生部
- 東壽寺　青柳 興雅　東前橋部
- 龍善寺　門倉 龍仁　伊勢崎部
- 長光寺　大澤 亮智　世良田部
- 聖徳寺　薗　実 善　下仁田部
- 東光院　小出 行観　西群馬部

## 西前橋部昌楽寺 昌楽寺晋山手伝い

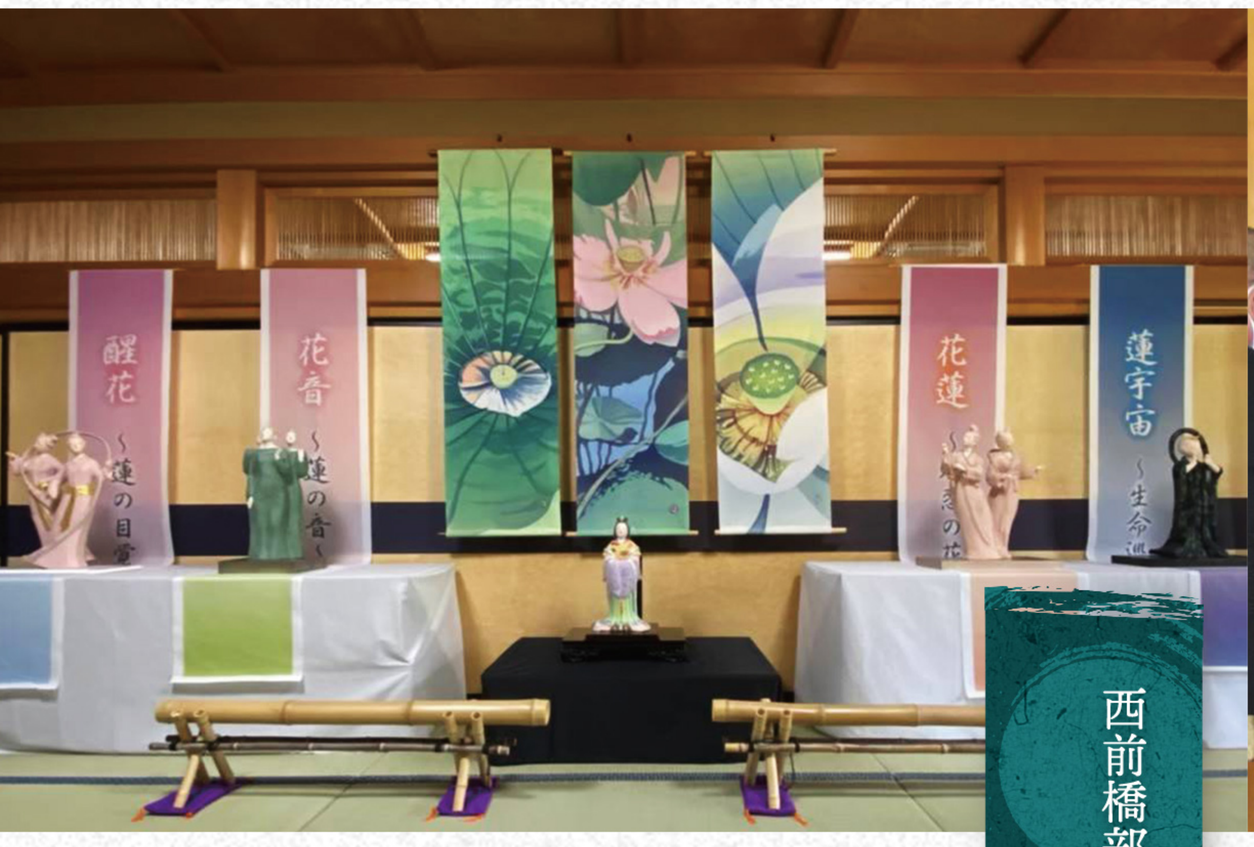
令和四年五月二十九日

### 厳粛な雰囲気の中にも華やかなお稚児さん

令和4年5月29日(日)に、西前橋部昌楽寺様の第49世（綾小路乗俊師）晋山式に受付、場内誘導のお手伝いとして参加させていただきました。

式は昌楽寺ご関係者の方々が見守られる中、群馬天台雅楽会による奏楽から始まり、厳粛な雰囲気のなか執り行われました。また、舞楽奉納や稚児行列も組まれ、とても華やかな晋山式でした。

（林 祐基）



## 法輪寺落慶式手伝い

令和四年四月二十四日

### 春降り注ぐ落慶法要 華やかで厳かな雰囲気の中で

令和4年4月24日(日)に高崎部法輪寺様にて落慶法要羅漢山正覺院法輪寺本堂落慶の法要が盛大に執り行われました。当会からも10名参加し、お手伝いをさせていただきました。当日の落慶式前には稚児行列も行われ、堂内では四箇法要にて厳かに法要が営まれました。法輪寺ご住職をはじめとして、檀信徒・関係者の皆様に心からお祝い申し上げます。（大澤 亮智）

## 西前橋部大徳寺「蓮まつり」

令和四年六月二十五日から三十日まで

### 蓮の花と仏教の繋がり 目と鼻で味わう蓮まつり

蓮を縁に、お寺と地域の交流を更に深めたいという住職の思いで、6月25日から30日の六日間、木暮照子先生の人形展と、実際に育てた五種類の蓮を飾り「蓮まつり」を開催。のべ200名以上の来場者に蓮と仏教の深い繋がりを、目と香りで体験していただくことが出来ました。本年は、より「お寺体験」を楽しんで頂ける内容で開催予定です。（ウーリィ妙婧）